

地域とともに歩み続ける特別支援学校づくり ～地域学校協働本部と移動アンテナショップの取組～



<誕生寺校地>



<弓削校地>



<アンテナショップ>

発 表 者 岡山県立誕生寺支援学校 校 長 圓 山 勇 雄

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
岡山県久米南町	248名	令和3年度	11名	3回	2名

学校教育目標

人や社会とのつながりを大切にし 豊かな人間性や社会性を育み 自立し社会参加できる児童生徒を育成する

学校・地域の特徴

☆昭和46年 県内初の
県立知的障害養護学校
として久米南町の協力
のもと、開校。
☆学区：12市町村
☆地域との結びつきが
強い。
☆知肢併設。(H15)
☆知的障害部門高等部
職業コース設置(H24)
☆二つの校地に分かれ
る。知的障害部門高等部
が弓削校地へ(H25)
☆JR津山線弓削駅に野
の花ショップ「夢元」が
開店し、12年目。
☆学校運営協議会5年
目。
☆専任の地域連携担当
☆地域学校連携本部の
部屋を各校地に設置。

学校運営協議会の概要

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員
- 学識経験者
- 児童相談所所長
- 後援会会長
- PTA代表
- 久米南中学校長
- 福祉関係者
- 基幹相談支援センター
- 公共職業安定所
- 実習先企業 ○校長

これまでの主な議題例

- 学校経営計画書の承認
- 学校経営に係る意見交換
- 学校評価に関する検討
- 学校参観
- 「授業づくり」「働き方改革」「キャリア教育・地域連携」等に関する協議

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- 日々の登校見守り等日常的なボランティアによるサポート
- 地域学校協働活動推進員による学校支援ボランティアとの連携
- 野の花ショップ「夢元」へのサポート



1 岡山県立誕生寺支援学校の概要

Q:なぜ、久米南町に県内初の県立知的障害養護学校が誕生したのか？

A:その当時、なかなか知的障害養護学校の建設が難しかった時代に、久米南町の方々の協力があり、開校することができた。

久米南町民にとって「おらが学校」という意識で、建設にも協力があつた。建設後も、学校に対していろいろと協力をしてくださったり、交流をしてくださったりした。

→地域との結びつきが非常に強い養護学校として歩んできた歴史。

→地域との連携が学校の教育活動に欠かせない存在である。

Q:長い歴史の中で、地域との結びつきや連携はどのように継続されたのか？

A:地域の方との合同の行事が多く計画され、地域との連携には担当者がついていた。児童生徒の増加により、教室不足が問題になった際、同じ時期に同じ町内にあつた県立弓削高校が閉校。

県と久米南町の理解のもと、跡地を誕生寺支援学校として活用するようになった。

あわせて、生徒が地域で学ぶ「アンテナショップ」を町内で作りたいという希望に対して、当時の久米南町が英断され、JR津山線弓削駅の一部を改装し、「野の花ショップ夢元」が12年前に開店。アンテナショップが弓削駅に開店する際には、「地域連携」という分掌も生まれ、専任の教員を配置するようになった。

＊「地域連携」は県教委からの加配ではなく、校内の職員配置を工夫した形で、専任として置いた。

Q:地域とのつながりを大事にするための工夫は何か？

A:もともといろいろな方がボランティアという形で本校に関わってくださっていたが、アンテナショップの開店や地域との交流、地域連携担当の配置などから、「地域学校協働本部」を設置、推進員を地域の方をお願いをした。

国土地理院承認 平14総複 第149号



岡山県

2 岡山県立誕生寺支援学校の組織

後援会（H24～）年1回

会の趣旨

地域と連携することで個性的で魅力ある学校づくりを推進するため。

設立の経緯

職業コースが設置され、また知的障害部門高等部が弓削校地への移転を契機に、誕生寺支援学校をこの地域に長く存続させるために設立される。

メンバー

学識経験者（会長）

弓削高校同窓会代表
久米南町総務企画課長
久米郡商工会代表
久米南町議長
久米南町教育長
久米南町婦人協議会長
久米南町愛育委員会会長
誕生寺支援学校同窓会長
誕生寺支援学校PTA会長
誕生寺支援学校 校長

本校への力強い
後押し



学校運営協議会（R3～）年3回

学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくために、保護者や地域住民等を含めた地域の関係者が一定の権限をもち学校運営に参画する。

委員の推薦については、それまでにあった組織のメンバーと本校に深く関連している地域の機関の職員等で構成している。

メンバー

地域学校協働活動推進員

学識経験者	児童相談所所長
後援会会長	PTA代表
久米南中学校長	福祉関係者
相談支援センター	公共職業安定所
実習先企業	校長

地域学校協働本部（H24～）年2回 「がんばるぞ誕生寺ネットワーク委員会」

目的

学校支援ボランティア活動、アンテナショップ運営、協働活動を推進する。

メンバー（R7現在）

地域学校協働活動推進員 2名

久米南町役場 副町長
美咲町社会福祉協議会 会長
久米南町連合自治会長
学校支援ボランティア代表
校長 副校長
地域連携担当（各部）

具体的な学習支援

学校運営への具体的な
アドバイス

3 学校評議員から学校運営協議会へ

R 2 学校評議員の構成

評議員の構成

- 津山公共職業安定所
- 学識経験者（津山市）1名
- 津山児童相談所所長
- 愛育委員（久米南町）
- PTA代表
- 実習先企業（津山市）

計6名

R 3 学校運営協議会委員の構成

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員1名
- 学識経験者（津山市・岡山市）2名
- 津山児童相談所所長
- 後援会会長
- PTA代表
- 愛育委員（久米南町）
- 久米南中学校長
- 社会福祉法人代表
- 医師
- 公民館長（久米南町）
- 相談支援センター（津山市）
- 津山公共職業安定所
- 実習先企業（津山市）○校長

計15名

R 7 学校運営協議会委員の構成

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員1名
- 学識経験者（津山市）1名
- 津山児童相談所所長
- 後援会会長
- PTA代表
- 久米南中学校長
- 発達発育支援センター所長（真庭市）
- 相談支援センター（津山市）
- 津山公共職業安定所
- 実習先企業（津山市）
- 校長

計11名

学校評議員から学校運営協議会へ

- 移行の際に、改めて委員の選定を行い、推薦し、委嘱した。
- 選定の際、人数が多くなったが、毎年検討している。
- 地域の捉えを久米南町を中心としながら、学区全体へと広げていった。

学校運営協議会の取組

- 主に学校経営計画の承認や学校評価に対する意見交換
- 学校見学を通して感じられた点に関する意見交換
- 授業づくりや働き方改革のほかに地域連携・キャリア教育に関する意見交換も毎回行っている。
- 具体的な学校運営に関する広い視点からの意見をいただくことで、新たな気づきがあり、教育実践に反映させることができている。

地域学校協働活動推進員の動き

- 学習に関する要望を学級担任や分掌から受けて、学校支援ボランティアを探し、連絡調整を行う。
- 当日も学校に来て、ボランティアの方の会場案内や学習支援の様子を参観したり参加したりする。
- 学習支援の計画を整理しながら、円滑な学習支援ボランティアができるようにする。



地域学校協働本部

がんばるぞ誕生寺ネットワーク委員会の動き

- 年2回開催。
- 学校支援ボランティア、アンテナショップ、協働活動について協議。

ボランティア活動の記録

2013年から「ボランティア活動」の記録が写真や文章、新聞記事などでまとめられている。本校の「地域学校協働活動」の足跡であり、宝物と言える。



岡山県立誕生寺支援学校 令和7年度 地域連携計画

地域連携担当 令和7年4月

地域学校公開

7月9日(水)午前 誕生寺校地
令和7年度から地域学校公開として地域の方に児童生徒の活動の様子を見てもらったり、高等部生徒による作業製品の販売を行ったり



夢元絆まつり

11月21日(金)、22日(土) 弓削校地
A高等部作業班が製品販売を行う活動。R2～4は地域からの参加は見合わせていた。R5は保護者卒業生を対象として開催し、R6年度からは保護者、卒業生、弓削校地に関するボランティアに案内をして開催。同日、誕生寺校地では作品展を開催。



子ども110番の家(生徒指導部と連携)

作業で製作した花プランターを見守り先に配付する活動
6・11月

【弓削校地】
1萩原歯科
2ハッピーマート
3弓削駐在所
4杉本呉服店
5浦上理容店
6久米南町役場
7保健福祉センター
8近藤クリニック

【誕生寺校地】
1志茂(旧美容室)
2三船商店
3松岡商店
4サラダ館
5前呉服店
6誕生寺駐在所



授業支援ボランティア

※ボラを希望する場合:希望者が各部地域連携担当に伝える→「地域学校協働本部」のホワイトボードに記入→ 推進員がコーディネート

☆音楽生演奏(バイオリン・オカリナ・チューバ・ピアノ・ウクレレ等) ☆本の読み聞かせ ☆歩行見守り ☆マジック ☆川柳 ☆ダンス ☆影絵 ☆人形劇 ☆調理補助 ☆豆腐作り ☆授業補助 ☆昔あそび ☆バルーンアート 等



A小学部授業ボラ

わくわくタイム 水曜日(13:10～13:50)
5月14.21日 6月18日 7月16日
9月3.24日 10月22日 11月5.12日 12月17日
1月14日 2月4日 3月4日



B部門授業ボラ

みる・きくの授業やプールの着替え補助、見守りなどボラ活用。



寄宿舍ボラ

寄宿舍わくわくタイム
学期に1回、余暇活動の時間にボラを活用。



A中学部授業ボラ

美作の国誕生寺
「お守りストラップ御祈願」6月10日(火)
校外歩行1月



A高等部授業ボラ

田植:5月21日 稲刈:9月9日
上之町地区活性化委員会と農耕班による協働活動(もち米)



図書活動 誕生寺校地

①6月25日 ②10月8日 ③12月3日④1月21日 ⑤2月18日
図書活動担当者、図書委員 会議室 12:45～13:00 Bプレールーム13:05～13:20



登校見守り(自主通学と連携)

地域のボラが弓削校地の登校を見守る活動
(安心安全岡山県づくり県民会議登録・見舞金制度) 現在5名



地域学校協働本部 (学校支援ボランティア)

ボランティア名簿に登録されている学校支援ボランティア 110名

地域学校協働活動推進員



水曜2回/月
ボラのコーディネート
ネット
協働活動支援

がんばるど誕生寺ネットワーク委員会

1推進員
2推進員
3久米南町
4美咲社協
5自治会長
6ボラ代表

R4ネットワーク委員メンバーを改編。地域連携担当教員が委員会参加。
4月24日、2月27日開催予定。
ボランティアコーディネート、販売活動補助等地域に根ざした活動支援。

絆だより

久米南町全世帯(1,900)に広報にとじ込み年3回配付。児童生徒配付。HP掲載。地域関連活動について広報。



年賀状

肢体不自由部門が制作した絵柄を年賀状に加工し、登録ボラに発送。来年度のボラ登録の確認を併せて行う。



お菓子BOX

地域のB型福祉事業所で製造されたお菓子を、誕生寺校地職員室、弓削校地職員室、寄宿舍のBOXで置き販売。月1度事業所が納入・集金する。

作業製品委託販売

作業製品を委託して販売。確認書を交わし手数料を支払う。運搬は委託先。

1美作の国 誕生寺
2かながわ SAKAGURA
(有美津葉)
3亀甲駅
4はんこくコーヒー

福祉連携

自立支援協議会

○津山地域 ○勝英地域 ○真庭地域
○吉備中央町 ○岡山市

各自立支援協議会の幹事会、子ども部会、就労部会(進路)に出席。事業所一覧を保護者配付。

外部委員

後援会

平成25年に弓削校地が開校した際に結成。アンテナ運営母体。
事務局:事務部長

1学識経験者 2弓削高同窓会代表 3久米南町総務企画課長 4久米郡商工会代表 5久米南町 教育長 6久米南町議長 7久米南愛育委員長 8久米南婦人協議会長 9同窓会長 10本校PTA会長

地域連携という分掌の主査として、年間計画の立案・実施・反省を行っている。

地域連携担当主査
野の花ショップ「夢元」3代目店長



<地域学校協働活動推進員との連携>
地域ボランティアと学校とをつなぐ

地域学校協働活動推進員



水曜2回／月
ボラのコーディネーター
協働活動支援

<アンテナショップ店長として、生徒を指導>
～毎週火曜日と木曜日～



<久米南町や後援会との連携>

絆
だより



年
賀
状



○久米南町全世帯に
配付（1,990世帯）
○HP掲載
○地域関連活動につ
いて広報

○肢体不自由部門が制作
した絵柄を年賀状に加工
○登録ボラに発送
○次年度のボラ登録の確
認も行う。

<移動アンテナショップの計画・実施>
～開催場所の選定・連絡・調整等～



笑顔で接客！

かごをどうぞ！



ねらい：生徒が作業学習等で培った成果を公の場で発表し、社会的自立を目指す。



*これは、職業コースの生徒が「久米南町地域おこし協力隊」に協力をいただきながら、授業で作成したパンフレットで、地域のいろいろなところをお願いをして、置かせていただいている。

地域の方々の支え（たくさんの来客）



地域の方々の憩いの場



J R弓削駅前の花壇の整備



ねらい：地域住民との交流を通して、本校児童生徒に対する理解を図り共生社会の実現を目指す。



移動アンテナ真庭：真庭市役所1階を貸していたいただき、焼き菓子と飲み物の喫茶を行った。（居住地生徒対象）



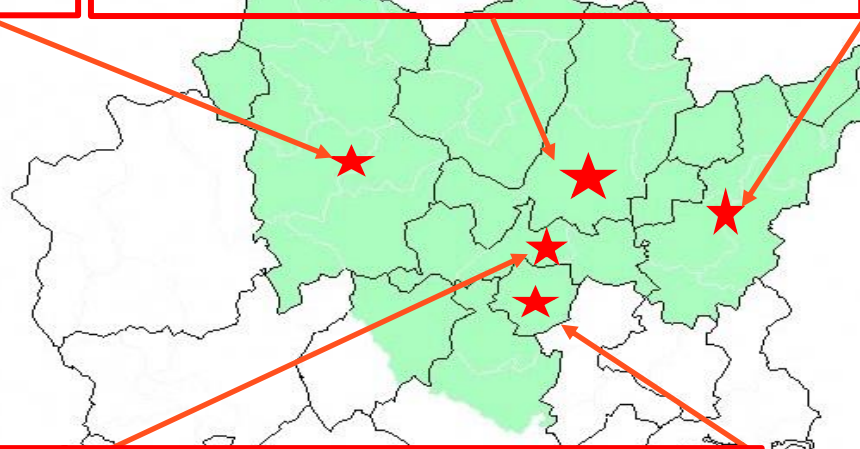
移動アンテナ津山：美作大学構内をお借りし実施。飲み物や焼き菓子による接遇と作業製品の販売を行った。大勢のお客で賑わった。学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の方も来店！（居住地生徒対象）



移動アンテナ勝英：道の駅「彩菜茶屋」をお借りし実施。飲み物と焼き菓子でおもてなし。（居住地生徒対象）



笑顔のお届け便：美咲町役場横のバス駐車場をお借りし、五つの事業所と一緒に、作業製品の販売や飲み物と焼き菓子の喫茶を行った。（居住地生徒対象）



サテライト美咲：美咲町役場横のバス駐車場をお借りし、中学部の生徒が、作業製品の販売や飲み物と焼き菓子の喫茶を行った。



移動アンテナ久米南：新しくなった久米南町役場の1階フロアをお借りして、実施。

○障害のある子どもたちが遠くから学びに来る学校として、いずれは地域で生活していくことを前提とし、日々の学習活動の計画・実施・反省を継続して行っていく。このような視点で学校運営を見直していくことを学校運営協議会は担っている。

○学校運営協議会は、地域連携だけでなく、働き方改革や授業づくりについてなど、より学校づくりのためさまざまな課題について熟議を重ねていく。

○学校運営協議会の委員については、地域の状況や本校の課題を見ながら、常に検討していく。

○地域学校協働本部は、学校支援ボランティアやアンテナショップの運営など、今まで積み上げてきたことを継続しながら、本校の学習活動や地域にとっても、さらに良いものになるよう、地域の高齢化が進む中、持続可能な形を模索しながら協働を進めていく。

○「つながる」という視点を大切にし、そこに心を砕くことを続けていく。それには、「地域学校協働活動推進員」と「地域連携担当」は欠かせない存在である。